

自然観察サークル 1 月定例会ブログ



延命院八木寺・春日大社境内と大楠

自然観察サークル 1 月定例会は新年会(来年度計画立案)を兼ねて開催しました。コロナでここ3年新年会のようなものは開かれなかったもので、久しぶりの楽しい食事会になりました。

食事会もいいけれどそれだけではつまらないので、札ノ辻という昔の交通の要所を中心に八木町の「町中さんぽ」をしました。古い町並み、建ち並ぶ家々のちょっとした空間に植えられた草木を目にしながら町中さんぽをしました。



大和八木駅南口集合



散策開始



恵比須神社境内



八木町の路地を通過して散策



芭蕉の句碑 草臥れて 宿かる頃や 藤の花 はせ越(芭蕉)
(くたびれて やどかるころや ふじのはな はせお)



下ツ道(中街道。南北に走る道)と伊勢街道の交差点が「八木札ノ辻」
建物は18世紀後半～19世紀前半に建てられたと考えられています。



橿原市指定文化財東の平田家(旧旅籠はたご)



1階 主人の居所(1階は主人の居所と接客、2階は宿泊施設)

手入れされた庭が部屋から眺めることができました。江戸時代には浪速講(なにわこう)と呼ばれる講に所属し、その正規の宿だったそうです。



札ノ辻の近くには古い建物が建つ町並みが見られました。



延命院八木寺境内
ここには大楠がありました。



町中さんぽの途中、ちょっとした場所に手入れされた素敵な植え込みや鉢物、生け垣がありました。



「町中さんぽ」は午前中で終了し、楽しみにしていた昼食をみんなで食べました。昼食後来年度の計画を立て、サークル長も前年度に続いて(二年目)引き受けていただけることになりました。

